

体験型・胎内記憶アートワークってなに？

2018年9月9日



体験型・胎内記憶アートワークってなに？

表現アートと胎内記憶を融合させることで新しく誕生した **体験型・胎内記憶アートワーク**。胎内記憶を知る事で「生まれる前から選んで来たミッション」や「誕生してきた本来の目的」を感じられます。この胎内記憶というコンセプトをアートを使って体験できる胎内記憶アートワークでは、感覚器官を全て使って胎内記憶をビジュアル化することでアートセラピーの枠を超えた表現アート*の新しい可能性に挑戦しています。

ありのままの自分を表現しながら、「今」という時間に生きている感覚をポジティブに捉える経験を通して、描かれたアートの中にずっと探し求めていたパズルの「ピース」が見つかる体験ができる新感覚のワークショップです。

***表現アート**=言葉に頼らない表現手段（絵・立体・発声・ムーブメントなど）

目次

[体験型・胎内記憶アートワークってなに？](#)

[表現アートセラピーとの違い](#)

[胎内記憶アートワークのコンセプト](#)

[豊かな社会創りの為にClearMindが出来ること...](#)

ClearMind: <https://www.clear-mind.net/>

お問い合わせ: info@clear-mind.net

五十嵐夕子・広沢そう



表現アートセラピーとの違い

ClearMindの広沢そうは、アメリカ・カリフォルニア州の Person Centered Expressive Art Therapy Institute でアートセラピストの資格を取得しました。

従来のアートセラピーは、言語に頼らずに五感や直感を使って潜在意識に働きかけながら心・感情・魂といった自分の内面と向き合いながら、一人ひとりの抱えている課題にアートを使ってアプローチしようとする療法です。アートセラピーのカウンセリングに心理学者のカール・ロジャースが提案するパーソンセンタードアプローチ「共感によるカウンセリング」や「ありのままの自分の姿を受け入れる」をアートセラピーに取り入れた方法をファシリテーターとして経験した広沢そうは、その体験の中でアートセラピーの中には決断しようとする気持ちや自己実現の方法についてのガイダンスが無いということに気付いたのです。

素直な自分を再発見したり、新しく自信を持てるようなきっかけ作りをアートワークの中に盛り込みました。どんなに小さな一歩でも「行動する」ことを後押しできるメソッドとして、私達ClearMindの体験型・胎内記憶アートワークは誕生しました。



親子で絵を使った対話



「みんなの宇宙」を描く

胎内記憶アートワークのコンセプト

長年産婦人科医の経験を活かしながら胎内記憶研究第一人者としてご活躍をされている池川明先生は、世界からも注目される研究をされています。池川先生は「一人ひとり完璧な存在」で、「生きている間に体験する全てが人生の醍醐味」だと語っています。

「もしも 一般的に知られている胎内記憶をアートを使って体験することが出来たら…」

子供の頃に忘れてしまうとされている胎内記憶が大人になった今もある五十嵐タ子と、表現アートセラピーでカウンセリングをしてきた広沢そうは、ClearMindとして社会の為に出来る活動は何かと考えた時に、**胎内記憶とアートセラピー**を融合させることで現実の生活が少しでも楽しいものに変えられる可能性を感じました。無意識に絵を描くことで自分が選んだ人生とその目的(=天命)を知り、意識が変わり、アートを通して意識の変化を体感すれば現実の生活が「生きやすく」なるかもしれないと思ったのです。

そして実際にアートワークを開催して、参加者の方々が生まれる前に選んで来たミッションや魂の成長の過程で設定したブループリントが色となり形となり、みんなの集合意識の力によって私達が地球に誕生した劇的瞬間をイメージの世界から現実の世界へと描いた時に素晴らしい一体感、誕生の喜び、生命の神秘を体感する事に繋がっていくのを目の当たりにしました。

これらの体験と感覚こそが、愛に満ちた平和な世界を形作るための基盤になるというのが胎内記憶アートワークのコンセプトです。



約70名がアートワークに参加して行われたイベント（江ノ島）

豊かな社会創りの為にClearMindが出来ること...

胎内記憶で子供達が語る人生の目的。
それはとてもシンプルであり、愛と平和に満ち溢れています。

「お母さんを幸せにするために生まれてきたよ」

「人の役に立つために」

「平和な地球を作るために！」



こんな優しい子供達から**生まれてきた意味**や**人生の目的**が表現アートの作品や感想を実際に自分の体験として感じた時に、自然と子供達に対する意識が変化していきますね。この変化はきっと親子だけではなく、夫婦、そして家族全体の関係をより良い方向へと導きながら、もっと豊かで柔和な社会を築く基盤作りに繋がっていくとClearMindは信じています。

実際に胎内記憶の活動に関わっている多くの母親達は妊娠、授乳、子育てをしながら胎内記憶の普及の為に地域活動が続けていて、なかには双子、年子、障がいを選んで生まれてきた子供達と寄り添いながら、より多くの人々へ伝えようという意欲を発揮していらっしゃいます。ClearMindは、そんなお母さんやお父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、若者たちや子供たちを「**世界平和を目指す社会現象の旗手**」そして「**意識の変革者**」として応援しながら**胎内記憶グローバルプロジェクト**を推進していこうと思っています。

胎内記憶というのは命の尊さを学ぶ事の出来る最良の方法であると信じ、人間の本質的な在り方と自分自身でいられる喜びを分かち合える手段であると感じています。

体験型・胎内記憶アートワークを通して私達が得たことは、胎内記憶を基礎とする「**いのちの学問**」は国境、人種、言語、文化、人間の認知的枠組みの境界を越えた宇宙意識の観点を提供してくれる今までの学問の壁を超えた自己教育法になっていくと心から願っています。